

日 本 史

〔 I 〕 次の（１）～（４）の中世の外交に関する文章を読んで、下記の【設問 A】
【設問 B】に答えよ。なお、同一記号の空欄には同一語句が入る。 （60点）

- （１）日本と中国の間には、13世紀後半のモンゴル襲来後も正式な国交はなかった。しかし、両国の民間貿易船の往き来^aは断続的に続いていた。14世紀半ばになると、東アジア各地で反乱が起こった。その結果、中国では1368年に元から明へ、朝鮮半島では1392年に（ c ）から朝鮮（李朝）へ王朝が交替した。

この混乱した政治的な状況のなかで、食料や労働力の獲得などのため、中国沿岸部や朝鮮半島南部を襲撃する倭寇が現れた。倭寇はそのすべてが日本人であったとは限らず、時期や地域によってその構成員はさまざまであった。実際、中国に出自を持つ者もいたため、明は海禁政策により海外渡航や海上交易を禁止した。その一方で、周辺諸国からの朝貢使節に対しては貿易の機会を与えた。こうすることで、中国沿岸部の治安は徐々に回復し、明は倭寇の活動を抑え込んだ。

明への朝貢使節が本物かどうか確認するために導入された手法が勘合である。日本の遣明船1隻が勘合1枚を携え、入港する場所や皇帝に拝謁する場所^イで勘合上の割印や割書を照合して真偽を確認し、正式な使者と認められれば、貿易が許される仕組みである。15世紀はじめ、日本には「（ d ）」に冊封^ウされた足利義満に永楽年号の勘合100枚が賜給された。

- 2) ^エ朝鮮（李朝）は、1392年に李成桂（太祖）が樹立した王朝である。朝鮮は室町幕府に対して倭寇の取り締まりを要求したが、あまり成果はあがらなかった。そこで朝鮮は、対馬・五島列島・博多などを拠点とする倭寇勢力に朝鮮との貿易を許可し、平和的な通交関係を構築した。その結果、さまざまな勢力が朝鮮に使節を送って友好的な貿易^{e・f・オ}をおこなうようになった。それでも貿易制限によって倭寇が再発すると、1419年に朝鮮が倭寇の本拠地とみなした対馬を襲撃する事件^gも起きた。

朝鮮は15世紀前半、日本の使節の入港地を3か所に制限し、それぞれに倭館を設置した。そして、対馬の守護であつた宗氏に貿易統制の一部をゆだねた。しかし、これは結果的に、宗氏が近世に至るまで朝鮮との交渉を独占することにつながった。その一例として、宗氏は貿易制限が強まる15世紀後半には、第三者や架空の名義を使って偽の使節を朝鮮に送り込むこともおこなった。一方でこの偽の使節は、朝鮮の貿易制限に反発して1510年に倭人が起こした（キ）以降、減少した貿易量の補填にも貢献した。

- (3) 琉球では、12世紀から13世紀にかけて、琉球石灰岩で構築したグスク（城）を拠点に、（i）と呼ばれる各地の豪族が争った。14世紀になると、沖縄本島では北山・中山・南山の三勢力に集約され、それぞれに明との朝貢貿易をおこなった。

中山王であつた尚巴志は、北山と南山を征服して琉球を統一し、明の冊封を受けた。首里を首都とした琉球王国は、那覇港を拠点に、日本・中国・朝鮮はもちろん東南アジア諸地域を結んだ中継貿易で大きく繁栄した。一方で、奄美群島や宮古・八重山諸島を征服して、西南諸島に広く勢力を拡大した。

15世紀後半には、明の財政事情から朝貢貿易の量が減少すると、中国福建方面との密貿易にも乗り出した。しかし、16世紀半ばには、ポルトガル商人や倭寇などの影響で交易活動は停滞した。

- (4) 蝦夷島のアイヌは、寒冷な気候のなかで狩猟・漁業・雑穀栽培を生業として、コタン（村）につどって生活した。アイヌは樺太や千島列島に展開して北方の諸民族と交易をおこない、ガラス製の装身具などを入手した。14世紀以降、津軽の（ケ）を拠点とする安藤氏がアイヌと交易すると、15世紀には本州から和人が道南に移住した。するとアイヌは、海獣の毛皮や鷺羽、昆布や干鰯などを和人に送り、漆器や銅・鉄製品を獲得した。

しかし、15世紀半ばにタタール（韃靼）が勢力を強めて沿海州から明が撤退すると、北方交易は急減した。その結果、和人の限られた交易の利権争いのなかで（j）が蜂起したが、制圧した和人が勢力を伸ばして道南を支配した。

【設問A】文中の下線部あるいは空欄a～jについて、下記の設問に答えよ。

- a. モンゴルの再襲来に備え、鎌倉幕府が御家人に対して博多湾沿岸に築かせた石造の防塁を何と呼ぶか。その名称を、解答欄 I－A に漢字 3 字で記せ。
- b. 1323 年、中国から日本へ向かう貿易船が、現在の韓国南西部の新安沖で沈没した。発掘調査の結果、大量の中国産陶磁器や銅銭などが出土した。この貿易船は荷札木簡から日本の複数組織が関わっていたことがわかっているが、このうち京都の東福寺以外に関わっていた博多湾岸の神社を何と呼ぶか。その名称を、解答欄 I－A に漢字で記せ。
- c. 918 年に王建が建国するも、のち元の属国になりモンゴル襲来にも参加したこの国を何と呼ぶか。その名称を、解答欄 I－A に漢字で記せ。
- d. 中国との国交を開くために足利義満が中国の皇帝から得た称号は何か。その名称を、解答欄 I－A に漢字 4 字で記せ。
- e. この当時の朝鮮からの輸入品で、仏教の経典を網羅的に集成したものを何と呼ぶか。その名称を、解答欄 I－A に漢字で記せ。
- f. この当時の朝鮮からの主要な輸入品となった織物で、衣料など人々の生活様式に大きな影響を与えたものは何か。その名称を、解答欄 I－A に漢字 2 字で記せ。
- g. この事件を何と呼ぶか。その名称を、解答欄 I－A に 5 字で記せ。
- h. 入港地の 3 か所は、塩浦と乃而浦以外にあと 1 か所はどこか。その名称を、解答欄 I－A に漢字で記せ。
- i. この時期、琉球に出現した豪族を指すこの名称は、琉球王国成立後には国王が任命する位階名となった。その名称を、解答欄 I－A に漢字で記せ。
- j. アイヌの大首長で、和人に対して蜂起し、道南十二館のほとんどを制圧した人物は誰か。その人物名を、解答欄 I－A に記せ。

【設問 B】文中の下線部あるいは空欄ア～コについて、下記の設問に答えよ。

ア. 明を建国した人物は誰か。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

- 1. 永楽帝 2. 朱舜水 3. 光武帝 4. 朱元璋

イ. この当時に遣明使が入港する場所と、皇帝に拝謁する場所として、正し

い組み合わせはどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 寧波・南京 2. 寧波・北京 3. 杭州・南京 4. 杭州・北京

ウ. この貿易では中国から大量の明銭がもたらされたが、それに該当しないものはどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 洪武通宝 2. 開元通宝 3. 宣徳通宝 4. 永楽通宝

エ. 「冊封」について、正しい内容はどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 周辺諸国が中国の皇帝に対して土産物を献上し、臣下としての礼を尽くすこと。
2. 中国は周辺諸国に対し治外法権を認めさせ、これに対し周辺諸国は中国へ関税自主権を認めさせたこと。
3. 中国の皇帝が周辺諸国の首長に対して称号などを与え王に任命して、周辺諸国を従属させること。
4. 中国の皇帝が周辺諸国の首長に対して称号などを与え王に任命して、周辺諸国と対等な関係を取り結ぶこと。

オ. この当時の日本からの輸出品で、琉球を通じてもたらされたものに該当しないものはどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 絹 2. 香 木 3. 蘇 木 4. 胡 椒

カ. 入港地である 3 か所以外に倭館がおかれた場所はどこか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 平 壤 2. 漢 城 3. 扶 余 4. 慶 州

キ. 入港地で保証されていた特権が縮小されたことで、倭人が起こした事件を何と呼ぶか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 寧波の乱 2. 刀伊の入寇 3. 三浦の乱 4. 弘安の役

ク. 倭寇について、前期倭寇と後期倭寇の違いとして、正しくないものはどれか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 前期倭寇は対馬・壱岐・肥前松浦地方の住民が中心であったが、後期

倭寇は中国人が中心であった。

2. 前期倭寇の活動はおもに14世紀であり、後期倭寇の活動はおもに16世紀であった。

3. 前期倭寇の活動範囲は朝鮮半島が中心であり、後期倭寇の活動範囲は中国南部が中心であった。

4. 前期倭寇は足利義持の禁止令により、後期倭寇は豊臣秀吉の禁止令により姿を消していった。

ケ. 安藤氏が本拠地とした場所はどこか。次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 箱 館 2. 松 前 3. 志 苔 館 4. 十三湊

コ. (j) の蜂起を制圧し、その後安藤氏に代わって道南の支配者となった一族を、次のうちから選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 南部氏 2. 蠣崎氏 3. 伊達氏 4. 最上氏

〔Ⅱ〕 下記の文章を読み、【設問 a】～【設問 o】に答えよ。 (45点)

江戸時代になると「町人」という言葉が一般化してくるが、寛永・寛文期の町人たちに対してはなお中世的な「町衆」という表現がふさわしく、その中心は特権的な門閥商人であった。[中略] かつて土倉だの座衆だのであった町人や、明との生糸貿易にたずさわった a 商人のような幕府や藩から利権を得ていた町人などが多かった。ところが、こうした町人たちに対して、元禄期の町人たちは、まったく異なる内容をもった新興商人であった。[中略]

たとえば、[中略] 紀州の紀 [伊] 国屋文左衛門が暴風雨をおかして紀州密柑を江戸に運んで巨利を博し、明暦の大火には火の鎮まらぬさきに木曾の木材を買占めて豪富を積んだといったことが語種となったのも、元禄の世相のなかでのことであった。そのほか、貢納米を取扱う米問屋や廻船問屋・蔵元、生活必需品を扱う問屋・小売商人に至るまで、きわめて敏活な商才が要求されたのである。

そのような町人の交替期に、明らかに特権町人の系譜につらなりながら、そ

の文化表現においては元禄町人の風貌をもあわせ示した最後の町衆として、尾形光琳・乾山^dの兄弟がいる。

さきに^e「本阿弥」光悦のつくった鷹ヶ峰の芸術村には、茶屋四郎次郎の家の南隣りに^fあたって「おかた宗伯」の家があった。[中略]

尾形家はもとは武士の出であるが、慶長いらい呉服師の^{かりがね}雁金屋として東福門院（後水尾天皇の皇后和子）の御用をつとめた家である。[中略]

家督をついだ青年の藤三郎〔光琳・乾山の兄〕は、新しい郷土産業としての西陣・京染^gの生産と深く結びついて、町人相手の呉服商としての繁栄を見いだしたのである。その点、新興町人の生き方と相通ずるところがあったと思われる。そのことは、光琳・乾山兄弟もその作になる意匠を新興町人のあいだにひろめ、著名なところでは三井家や京都銀座方年寄中村内蔵助とのあいだにも関係をもっていたことからもうかがわれる。このように、光琳・乾山には、古典趣味といっても伝統的側面だけでなく、きわめて新鮮な一面のあることを評価したいと思う。そこには、光悦・〔俵屋〕宗達のような^h寛永期の文化をうけながら、それと区別されるⁱ元禄期の町人文化としての意味があるのである。

たとえば、光琳の場合^kは、彼じしんが光悦・宗達のように公家的な芸術観である古典的精神につらぬかれているのではなく、『伊勢物語』のような古典的素材をただ美的に意匠化したのである。そこで「形式上では古典を扱いながら、内容上では古典文学を否定しているかのようである。かの三十六歌仙図屏風をみても、その歌仙の姿態や風貌の自由さは、古典性を超越してこそ行い得るものであるし、むしろ古典性に対する諷刺であるとも解釈される」、といった鋭い指摘もおこなわれるのである。しかし、こうした古典精神を超克したところに、一木一草がそれじたいとしてもっている美を認識し、さらにその美をいっそう効果的に表現する装飾的画法を発見することができたのである。その点で光琳は、元禄期町人の現実的精神^lを典型的に代表しているといつてよからう。

光琳の芸術^mに見られるこのような傾向は、乾山においてもまったく同様であった。この兄弟は、光琳の外延的であるのに対して、乾山は内包的な性格であったらしく、兄は放蕩、弟は隠遁といった違いが感ぜられるのだが、それでも乾山の作品のなかには、きわめてつよい現実主義が流れている。彼じしん、作

陶を「焼物商売」と観じていたといわれるが、作品に皿鉢類や懷石道具の多いことも、その端的な証明であろう。この兄弟の放蕩と隠遁は、同じ文学者として、西鶴と芭蕉が同時代ⁿに生きたことを思わせる。

西鶴は、 の伝統をふまえて、ついに浮世草子の連作をつくり出したが、実は「町衆」という呼称は、彼の貞享二年（一六八五）正月の作品、『近年諸国咄』のなかに、そのながい遍歴を終えるのである。それは「狐四天王」という話で、そのなかの狐の葬礼を描いて「町衆は袴・肩衣にて野墓^(に)の送る気色」という文句に出合う。この話が、寛永十四、五年のころのこととして語られているので、おそらく、その言葉によって古様をもたせようとしたものかもしれない。

しかしともかく、西鶴の筆のなかに町衆はながくその映像をとどめたのであった。そしてすでに一般化した「町人」は、完全に一つの階級—身分として考えられるものとなっていたのである。

出典：林屋辰三郎『町衆——京都における「市民」形成史』(中公新書)

出題のため、一部表現をあらためた箇所がある。また、[] は、
原典にない注釈を示す。

【設問 a】マカオに拠点を置いていたポルトガルの商人たちは、中国産生糸を日本に売って得た銀によって巨利を得ていたが、江戸幕府は1604年（慶長9）に 制度を設けて、日本の特定の商人たちに生糸を一括購入させることで、ポルトガルの利益独占に終止符を打った。 に入る語句を解答欄Ⅱ－Aに漢字3字で記せ。

【設問 b】1657年（明暦3）に江戸で起きた明暦の大火は、江戸全体の55%を焼き、死者は10万人を超える大惨事となった。この後、江戸では道路を拡幅して火除け地とすることが行われた。たとえば両国橋の付近では、このような空間に仮設の見世物小屋などができて、夏の納涼の際などには大層賑わう盛り場となっていく。このように本来は火除けのために設置された道路をなんと呼ぶか。解答欄Ⅱ－Aに漢字3字で記せ。

【設問 c】湖・河川や海を利用した水運は、陸上交通に比べて大量の物資を安く

運ぶのに適していたため、近世を通してさまざまなかたちの水上交通が発達した。17世紀後半には、千石積を使用した廻船が創始され、大坂と江戸の間で物資を輸送した。この廻船をなんと呼ぶか。解答欄Ⅱ－Aに漢字4字で記せ。

【設問 d】尾形光琳は、俵屋宗達に私淑し、その影響下に、後に「琳派」と称せられる大和絵的な絵画様式を確立することになるが、もともとは山本素軒という狩野派の絵師に絵画を習っていたという。素軒が師事したのは、狩野派の豪壮な様式を優美な様式に変化させた絵師であった。その絵師は1617年（元和3）に江戸幕府の御用絵師となり、幕藩体制に深く関与して、江戸時代を通じて繁栄していく江戸の狩野派の基礎を築く。この絵師は誰か。人物名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 狩野山楽 2. 狩野永徳 3. 狩野元信 4. 狩野探幽

【設問 e】光琳の弟の乾山は、野々村仁清に学んだ作陶で知られているが、仁清や乾山が大成させた、栗田焼や清水焼を含む陶磁器の総称をなんというか。解答欄Ⅱ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 f】本阿弥光悦は、書、陶芸、漆芸と多岐にわたる芸術作品の制作に携わり、あるいは関わっていた。光悦が制作に関わったと伝えられる漆芸作品に《舟橋 硯箱》（東京国立博物館蔵、国宝）がある。 には、漆で文様を描き、乾かないうちに金銀粉や色粉などを散らして付着させて文様を表す技法を示す語句が入る。その語句を解答欄Ⅱ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 g】本阿弥光悦や俵屋宗達をも含む寛永文化を主導した後水尾天皇は、政治の面では江戸幕府と対立することもあった。その対立のひとつが、高位の僧侶に与える紫の衣にまつわる事件で、後水尾天皇が幕府の許可なく紫衣を与えたことを問題とした。これが天皇の退位につながったともいわれ、またその事件に関して抗議した僧侶たちも処罰されることとなった。そうした僧侶のうち、大徳寺の僧侶で、罪が許された後は三代将軍家光の帰依を受けて、江戸に東海寺を開くことになった人物名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 沢庵宗彭 2. 天海 3. 隠元隆琦 4. 顕如

【設問 h】京染のうち、元禄頃に人気を博した、糊置防染法の染めで、人物や花鳥などの華やかな絵模様が特徴の染め物は、その創始者の名前を取ってなんと呼ばれているか。解答欄Ⅱ－Aに漢字3字で記せ。

【設問 i】俵屋宗達は、料紙（文書、典籍、経典等の文字を書くときに使用する紙）の装飾に優れていて、本阿弥光悦がその料紙を好んで用いたことは知られているが、1602年（慶長7）には、安芸国を中心に治めていた大名の発願によって、平安後期に厳島神社に奉納された装飾経の補修を行ったとされている。その装飾経は一般になんと呼ばれているか。解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問 j】国宝に指定されている以下の建築物のうち、寛永期の文化に属するものを下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 桂離宮 | 2. 大徳寺唐門 |
| 3. 姫路城 | 4. 都久夫須麻神社本殿 |

【設問 k】元禄期には、町人のなかからもさまざまな思想家が登場する。儒学のなかでも幕府の体制維持のための朱子学を否定し、『論語』や『孟子』などの原典の研究を通じて儒学を理解しようとする古学一派である古義学を唱え、京都の堀川に古義堂（堀川塾）という私塾を開いた学者の人物名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 山鹿素行 | 2. 山崎闇斎 | 3. 伊藤仁斎 | 4. 熊沢蕃山 |
|---------|---------|---------|---------|

【設問 l】『伊勢物語』をはじめ、平安時代の古典文学は、近世になって再び注目され、さまざまな研究も行われるようになっていく。歌学方に登用され、『源氏物語湖月抄』、『伊勢物語拾穂抄』などの注釈書を著した、のちの国学の先駆者ともされる人物は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 荷田春満 | 2. 本居宣長 | 3. 契 沖 | 4. 北村季吟 |
|---------|---------|--------|---------|

【設問 m】元禄文化の持つ現実的精神を表す言葉が「浮世」である。もともとは、「憂世」と書いて、仏教の無常観に基づき、現世を否定的にとらえる概念であったが、江戸時代になり現世を享樂的に送るべき世の中として肯定的にとらえることによって「浮世」と書かれるようになったという。その「浮世」

を描いた絵画が「浮世絵」であり、狩野派などの絵師が目を向けなかった遊里や歌舞伎などを題材とした。元禄期の初期に浮世絵を確立し、浮世絵の祖とも呼ばれた絵師は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 喜多川歌麿 2. 菱川師宣 3. 鈴木春信 4. 鳥居清長

【設問 n】西鶴と芭蕉の同時代には、同じく上方の町人である近松門左衛門がいて、義理と人情の板挟みにあう人びとの姿を人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本に描き出した。近松の作ではない戯曲を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 『国性（姓）爺合戦』 2. 『曾根崎心中』
3. 『心中天網島』 4. 『義経千本桜』

【設問 o】空欄 は、江戸初期に刊行された通俗的な絵入りかな書きの出版物で、啓蒙的、娯乐的、教訓的な文学であったが、西鶴以降、浮世草子と呼ばれる享乐的な現世を描いたものに変容していく。空欄 にあてはまる語句を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 御伽草子 2. 黄表紙 3. 仮名草子 4. 読 本

〔Ⅲ〕 次の（１）（２）の文章を読んで、下記の【設問ア】～【設問ソ】に答えよ。

(45点)

- (1) 第二次世界大戦後の連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）による占領政策の目的は当初、非軍事化と民主化の徹底に置かれた。幣原喜重郎内閣に対して出された^ア五大改革の指令のうち経済の民主化として進められたのが、財閥解体と農地改革、労働改革の三大改革であった。財閥解体については、三井や三菱、住友、安田など15の財閥の資産凍結が命じられ、独占禁止法によって独占行為が禁止され、（イ）によって巨大企業の分割が進められた。日本政府が自主的に始めていた^ウ農地改革はGHQによって徹底され、その結果、寄生地主が持っていた小作地の多くを国が強制的に買い上げ、小作人に安く売り渡して、小作制度の廃止につながった。労働改革については、いわゆる^エ労働三法が制定され、労働者の権利拡大が図られていった。

一方で、敗戦後の日本の経済状況はどん底からなかなか回復できていなかった。産業や貿易の衰退とともに、海外からの復員や引揚げにより、人口は膨れ上がるなか、失業者は急増し、食料不足も深刻となった。さらに、極度の物不足のなか日本銀行券の発行が急増したため、猛烈なインフレーションが起こった。幣原内閣は（オ）によって、預金封鎖による旧円の引き出しを禁止し、新円の通貨流通量を制限することでインフレーションを抑えようとしたが、効果は一時的であった。このような状況の中で全官公庁共同闘争委員会に結集した官公庁の労働者を中心として、ゼネラル・ストライキに突入することが決定されたが、GHQの命令で中止となった。

こうしたなか、国際社会において資本主義陣営と社会主義陣営との間でいわゆる「冷戦」が本格化した。東アジア情勢も変化するなかで、GHQによる占領政策の重点は非軍事化と民主化の徹底から経済の自立化と政治の安定化へと移ることとなる。GHQは1948年12月に経済安定九原則の実施を指令する。翌年にはGHQ顧問として来日したドッジによって、財政支出を極度に抑えた超均衡予算の編成や、1ドル＝360円の単一為替レート^キの設定などの具体策が日本政府に示された。これら一連の政策によってインフレーション^クは抑えられ、物価も安定したが、一方で不況が深刻化し、中小企業の倒産^ケや人員整理で失業者が増大するなど、社会不安が高まった。

【設問ア】下線部アの五大改革の一つに圧政的諸制度の撤廃がある。これにより政治犯の釈放や特別高等警察廃止のほか、政治的集会および結社、言論活動などを取り締まるため、1900年に第二次山県有朋内閣で制定された法律も廃止されることとなった。労働運動の規制強化にも利用されたこの法律の名称を、解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問イ】空欄イに当てはまる法律は、巨大企業自体が持つ独占的な経済力を排除するため1947年12月に片山哲内閣で公布された。この法律の名称を解答欄Ⅲ－Aに漢字10字で記せ。

【設問ウ】下線部ウの農地改革の一環として、1938年に制定されていた農地調整法の改正とともに、地主と小作人の前近代的な封建的関係を打破し、

を目的として、農地や未墾地などの買収、売渡しの要件、手続な

どを定めた 特別措置法が1946年に制定された。 にあてはまる語句を解答欄Ⅲ－Aに漢字5字で記せ。

【設問エ】 下線部エの労働三法には労働基準法と労働組合法に加えて、労働委員会による調停などを定めたもう一つの法律が含まれる。その法律の名称を解答欄Ⅲ－Aに漢字7字で記せ。

【設問オ】 空欄オに入る法令を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 金融緊急措置令 | 2. 支払猶予令 |
| 3. 日本銀行法 | 4. 臨時資金調整法 |

【設問カ】 下線部カのゼネラル・ストライキの実施が予定されていた西暦年月日を解答欄Ⅲ－Aに記せ。

【設問キ】 下線部キの経済安定九原則に含まれる事項を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 金融緩和 | 2. 徴税強化 |
| 3. 民間活力の導入 | 4. 貿易の自由化 |

【設問ク】 下線部クの為替レートはその後、1973年に変動相場制へと移行する。その際、日本の首相を務めていた人物を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 佐藤栄作 | 2. 田中角栄 | 3. 福田赳夫 | 4. 三木武夫 |
|---------|---------|---------|---------|

【設問ケ】 下線部ケの状況において労使対立が激化するなかで、1949年8月、日本国有鉄道東北本線で列車転覆事件が起こった。この事件名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。なお、この事件の容疑者として逮捕・起訴された労働組合員20名は、一、二審では有罪となったが、1963年の最高裁の判決では無罪となった。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 下山事件 | 2. 福島事件 | 3. 松川事件 | 4. 三鷹事件 |
|---------|---------|---------|---------|

(2) 1950年代中ごろから1970年代初めまで日本の国民総生産（GNP）の成長率は年平均約10%に達した。技術革新と活発な設備投資によって鉄鋼や造船、自動車、電気機械、化学工業などの重化学工業は顕著に成長していった。また、石油化学や合成繊維などの新産業も発達するとともに、原油輸入の自由

化の影響により、工場用エネルギーが石炭から石油へと大きく転換するエネルギー革命も起こった。

高度経済成長期においては、国内の社会状況も大きく変化していくことになる。1950年代後半から、都市部に暮らす人口が過半となるなか、第二次産業としての鉱工業や建設業、第三次産業としての運輸通信部門や商業部門に従事する人々が急増していった。都市内および主要都市間を結ぶ交通も発達するなか、既存の大都市における人口および産業の過度な集中が進行していく。住宅問題や交通渋滞が深刻化するとともに、生活基盤の整備や福祉も著しく立ち遅れることになった。また、工場の排出する有害物質による大気汚染や水質汚濁、騒音、地盤沈下など、さまざまな公害が発生した。

こうした状況下、各地の首長選挙では都市問題や福祉・保育問題などの課題が争点となり、1967年に東京都知事に初当選した（ソ）をはじめ、社会党と共産党という革新政党のいずれか、もしくは両方が支援する首長が誕生していった。

【設問コ】 下線部コの石炭産業は1950年代から60年代にかけて需要が急減し、斜陽産業化していった。1960年には三井鉱山三池炭鉱で大量解雇に反対する労働者による激しい争議が展開されたが、当地の労働組合を支援していたのが日本労働組合総評議会（総評）であった。総評はその後、労働組合が再編されるなか、1989年に解散し、全日本民間労働組合連合会に合流する形で となる。 にあてはまる組織の名称を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 全国労働組合総連合 | 2. 全日本労働総同盟 |
| 3. 日本労働組合総連合会 | 4. 日本労働総同盟 |

【設問サ】 下線部サの高度経済成長期、すなわち1950年後半から1970年代初頭に至る時期の社会状況の変化として誤っているものを下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 生活の洋風化などで米の消費量は減少し、食糧管理特別会計の赤字が問題となり、減反政策が始まった。
2. 都市部への人口集中を受け、住宅確保と居住水準の向上を目的に、千

里丘陵や多摩丘陵などにニュータウンの造成が始まった。

3. ダイエーなどのスーパーマーケットが成長して流通革命が起こった。

4. 阪神急行電鉄などの私鉄が経営するターミナルデパートが出現した。

【設問シ】下線部シの交通について、1955年以前の東京で既に運用していたものを下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 高速道路 2. 新幹線 3. 地下鉄 4. モノレール

【設問ス】下線部スの状況に加えて地域の格差を是正する趣旨で、池田勇人内閣において 建設促進法が1962年に制定された。これにより八戸や日向・延岡など全国で15地域が に指定され、港湾や道路、工場用地の整備とともに、大規模で生産性の高い工場の誘致計画が立てられた。

この に入る語句を解答欄Ⅲ－Aに漢字5字で記せ。

【設問セ】下線部セの公害において、戦前期の日本で最も注目されたのが、古河鉱業が経営する足尾銅山の鉱毒が渡良瀬川流域を汚染し、住民に大きな被害をもたらした事件である。田中正造による天皇への直訴が行われるものの、操業は停止されず、政府は流域に遊水地を設けるために谷中村を廃村とし、住民を集団移転させることとなった。この一連の事件が起こった県名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 群馬県 2. 栃木県 3. 福島県 4. 山梨県

【設問ソ】空欄（ ソ ）に入る人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。